

「沖縄から見る世界～キリスト者の視点から」

講座への招きの言葉

沖縄戦最後の激戦地、摩文仁の丘に立ったとき、私は言葉を失いました。そこには沖縄の住民や日本軍兵士らを弔った無数の慰霊塔が林立しています。

私は二十万を超える命が奪われたこの地で、「慰霊」とは何かを問い続けてきました。国家が兵士の英霊を弔う顕彰、沖縄の遺族が静かに手を合わせる祈りの間には、埋めがたい断絶があるように思えます。ジャーナリストとして、映画監督として、そしてキリスト者として、私はその断絶の前に何度も立ち尽くしてきました。

琉球王国は「琉球処分」によって解体され、皇民化教育を経て沖縄戦へと追い込まれました。戦後はアメリカ軍統治を経て日本に「復帰」しましたが、基地は今も残り続けています。「非武の島」はいかにして「基地の島」とさ

れたのか。その問いは、今日のパレスチナやウクライナで起きていることと、深く響き合います。

聖書はこう語ります。「平和を実現する人々は、幸いである」(マタイ5章9節)。しかし世界は、平和とはほど遠い現実で満ちています。キリスト教はこの現実の前で何を語るのか。今この世界に生きる人間として、信仰の言葉を共に問い直したいと思えます。

本講座は、沖縄という具体的な場所から出発し、歴史・政治・信仰の交差点に立つ5回の旅です。答えを提示する場ではありません。皆さんと共に問いを深め、キリスト者として何を希望の根拠とするかを探る時間として、心からお待ちしています。

開会礼拝・オリエンテーション

<8月10日(月) 10:00～10:30>

講義Ⅰ

摩文仁の丘で見つめた"慰霊" <8月10日(月) 10:30～12:10>

沖縄戦終焉の地・摩文仁の丘での体験を起点に、「慰霊」という行為の意味を問い直します。国家が主導する顕彰と、住民の祈りの間にある断絶とは何か。映画「摩文仁 mabuni」で描いたそれぞれの慰霊塔を紹介し、そこで出会った証言者たちの言葉を手がかりに、死者を記憶することの政治性と信仰的意味を考えます。

講義Ⅱ

琉球処分から沖縄戦へ <8月10日(月) 13:30～15:10>

1879年の琉球処分から皇民化教育、そして1945年の地上戦へ。現在に続く沖縄と「本土」の断層の原点はこの時代に内在しています。「捨て石」とされた沖縄の民が経験した歴史を辿りながら、「構造的差別」という問いを掘り下げます。キリスト者、ジャーナリストとして記録してきた証言をもとに、歴史の中に埋もれた声に耳を傾けます。

講義Ⅲ

アメリカ世からヤマト世へ <8月10日(月) 15:30～17:10>

27年間のアメリカ軍統治を経て1972年の「本土復帰」は、沖縄の人々が真に望んだものだったのか。キリスト教会も深く関わってきた辺野古での抵抗運動の現状も岐路に立っています。米軍基地が置かれ続ける現実を通して、「軍事同盟」と「非暴力抵抗」の間で問われてきたものを検証します。

講義Ⅳ

パレスチナ、ウクライナから見る世界 <8月11日(火) 10:00～11:40>

幾度も取材で訪れたパレスチナ・ウクライナの紛争の現場と、沖縄の歴史的経験を重ねながら、繰り返される戦争と暴力の構造を読み解きます。「隣人愛」「正義」「平等」という聖書の価値は、この現実はどう語りかけるのか。キリスト者として世界に何を発信するべきかを共に考えます。

講義Ⅴ

終末論とどう向き合うのか <8月11日(火) 13:00～14:40>

全講座の問いをキリスト者として受け取り直します。今、パレスチナやイランでの戦争において、聖書に描かれた「終末論」がアメリカやイスラエルによる武力攻撃の根拠とされています。その意味を改めて問い直し、ジャーナリストとしての使命と信仰の関係を証しし、皆さんと共に希望の言葉を探ります。

講師を囲んで～懇談の時

<8月11日(火) 15:00～16:30>

講座開催要領

日時

2026年8月10日(月)～11日(火・祝)

場所

日本バプテスト連盟会館3階礼拝室(さいたま市南区南浦和 1-2-4)

テーマ

「沖縄から見る世界～キリスト者の視点から」

講師

新田 義貴 先生

(映像制作ユーラシアビジョン代表・映画監督、元 NHK ディレクター、大井教会会員)

テキスト

なし

受講料

●一般受講：15,000 円 ●在学生：12,500円

●後援会受講：7,500 円(受講料半額、但し単位取得不可)

*通信受講は+5,000 円の通信事務費が必要です。

*後援会会員になるためには「年会費 5,000 円」あるいは「月々支援加入」が必要です。

*後援会年会費は献金日から1年間有効で、「払込金受領書」を領収書とさせていただきます。



2026年度 夏期公開講座申込書

I. 所属(□に印をつけてください)

※複数回答ナシ(①～③のいずれかに印を付けてください)

①後援会受講
(受講料半額)

入会・更新希望

入会済み

月々支援

②一般受講者

単位不要

単位取得希望

(※詳細は事務局までご相談ください。)

③在学生

専攻科

本科

教会音楽科

II. 参加形態(□に印をつけてください)

通学

ビデオ受講(YouTube 配信)

ライブ通信(zoom 配信)

※ライブ受講は zoom 経験者のみ受付します。 / ※部分参加は受付できません。

◆教会共同受講(通信事務費免除、原則2名以上から受付)

※お申込みの際は神学校ホームページから配布する**共同受講用の申込書(Excel)**をご利用ください。

※教会共同受講は教会に集まらなくても受講可能です。

※締切日を過ぎてからの申し込みは受付できませんので、個人受講でお申し込みください。

III. 申し込み者

(ふりがな)

氏名:



詳細は
神学校ホームページにて
ご確認ください。

tbts.jp

検索

郵便番号: 〒

—

住所:

電話番号:

所属教会:

Eメールアドレス:

お問合せ

〒336-0017 さいたま市南区南浦和 1-2-4 東京バプテスト神学校事務局

●TEL: 048-767-8542

●FAX: 048-767-8543

●E-mail: seminary@tbts.jp

<教会共同受講> 申込締切日 2026年7月24日(金)

<個人受講> 申込締切日 2026年7月31日(金)

※費用については事務局から請求書をお送りしますので、それを確認してから送金してください。